【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和８年度学校評価 計画

達成度（評価）
Ａ：十分達成できている
Ｂ：おおむね達成できている
Ｃ：やや不十分である
Ｄ：不十分である

学校名	佐賀市立勧興小学校
1　前年度 評価結果の概要	・職員が学校評価の重点取組を理解し、教育活動に取り組むことができた。 ・校内研を通して、教職員が学習課題を設定し、振り返りを意識した学習指導が定着しつつある。 ・地域に支えられている環境の中で、自立へ向かう子どもの支援を充実させることができた。 ・教職員の働き方改革については、時間外在校時間が短縮され年休取得率の向上が見られた。年休申請等新システムを一層活用し、今後も課題解決に向けて取り組みを継続する必要がある。
2　学校教育目標	**「ふるさと勧興を誇りに、個性と創造性に富む子どもの育成」** **～勧興魂「勉強はベストをつくし　運動はくたくたになるまで」を校是として～**
3　本年度の重点目標	**楽しく豊かな学校生活づくり** **【学力向上の推進】　：〇学習指導要領の理念を具現化し、学力向上を目指した学習指導、〇個に応じた価値ある家庭学習の継続** **【豊かな心の育成】　：〇開発的生徒指導や個々に寄り添った教育相談の推進、〇多様性を当たり前に受容できる児童や学校文化の育成** **【特別支援教育の充実】　：〇個別の教育支援計画を具現化した適正な教育課程の編成及び実施、〇全児童を対象とした合理的配慮の提供**

4　重点取組内容・成果指標　　**中間評価**　　**5　最終評価**

(1)共通評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 （評価）	進捗状況と見通し	達成度 （評価）	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	〇自ら問いをもち、学び続ける子どもを育成するための授業の実践	〇人・モノ・コトに関わる授業づくりと、「問い」と「振り返り」を大切にした授業実践（授業公開、もしくは実践報告提出年1回以上）	〇今年度の研究テーマである「人・モノ・コト」に関わる授業の実践を行い、公開授業後の研究会実施もしくは、実践報告の提出（100%） 〇全校授業研参加年4回 〇NIE教育の実践							まなびあい部 （学力向上コーディネーター）
	〇一人一台のタブレットを有効活用した授業実践	〇「各学年で身につける操作スキル」当該学年の技能習得の指導　100% 〇プログラミング教育全体計画の当該学年の指導内容の履修　100% 〇発達段階に応じて、資料共有や振り返り場面等での活用	〇総合的な学習の時間等で技能習得の時間を設ける。 〇ICT利活用推進のための教職員向けミニ研修の実施（年5回） 〇4年生以上で家庭でのタブレット使用を推進する。		・		・		・	ICT教育推進リーダー
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	〇多様な人物や価値観との出会いから、自分事としての振り返りができる児童85%以上	〇ゲストティーチャー等を招き、多様な人物や価値観との出会いを教育課程に位置づけ、価値ある学びを作る。 〇特別支援学級の担任による児童への多様性を認め合い尊重し合うことをねらいとした講話の実施。		・		・		・	ひびきあい部
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	〇児童、保護者へのアンケートを毎月確実に実施し、管理職・学年で対応する教師90%以上	〇確実で丁寧なアンケートの対応 ーアンケート実施月内に、聞き取り、解決に導く		・		・		・	ひびきあい部
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒85%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	〇校内研修を通して、QUアンケートの集計結果を基に学級のアセスメントを行う。 〇学校評価アンケートに質問項目を入れて集計をする。 〇教科横断的な視点でキャリア教育を推進する。 〇学期末の振り返りで児童のできるようになったことやこれから頑張りたいことについての項目を設け、自己肯定感を高		・		・		・	ひびきあい部 まなびあい部
	◎ふるさと勧興を誇りに、自分の夢や目標について考える教育の推進	◎「勧興の良さ」を1つ以上回答できる1～3年生が80%以上 ◎「勧興を誇りに思う」と回答する4～6年生が80%以上	◎「出番・役割・承認」を意識して、児童が地域に学ぶ場、児童の地域における活躍の場を各学期に1回以上、教育課程に位置づける。 ◎「勧興読本」「さがの人物探検99」の活用		・		・		・	ふれあい部
●健康・体つくり	❶「運動習慣の改善や定着化」	❶授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒70%以上	〇昼休みに体育館を開放し、運動する機会を増やす。 〇徒歩通学の価値づけおよび奨励 ・全校集会で啓発 ・学校だより、保健だより、学級だよりで発信（それぞれ1回以上）		・		・		・	体育主任 養護教諭 保健主事
	〇ゲーム・インターネット・SNSの節度ある適切な使用	〇端末を利用する約束を守っていると回答する保護者の割合が85%以上	〇情報モラル等の問題を取り上げた学級指導を教育課程に位置付け実施する。 〇インターネット利用に関するアンケートの毎月実施。 〇学級だより等で、保護者にインターネット等に関わる問題や現状について		・		・		・	まなびあい部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上の割合を90%以上	〇毎週金曜日を定時退勤日とする 〇18時以降の電話の禁止 〇健康観察アプリ「LEBER」での連絡対応 〇業務の効率化に向けたアイディアの共有 〇職員会議資料のデータ化 〇長期休業期間や行事後等を活用し、休暇を取得しやすい校務運営を行う。 〇学年・分掌内で業務を共有し、互いに		・		・		・	管理職
	〇ワーク・ライフ・バランスを意識した職場風土づくり	〇学校評価アンケートで、「勤務時間を意識して業務に取り組んでいる」、「互いに支え合い、早めの退勤を促す雰囲気がある」と回答する教職員の割合をそれぞれ80%以上にする。	〇退勤時刻を意識した声かけや、19時を目安とした退勤に向けた働きかけを行う。 〇会議・打合せの時間設定や進行を工夫し、効率的な業務遂行を図る。 〇週予定・月行事予定を早めに共有し、見通しをもって業務に取り組めるようにする。 〇学年・分掌・管理職で業務の進捗や困り感を共有し、互いに支え合える体制		・		・		・	ひびきあい部
●特別支援教育の充実	〇個別の教育支援計画、個別の指導計画を具現化した教育課程の実施 〇個に応じた自立活動の充実	〇個別の教育支援計画、個別の指導計画を有効に活用したと回答する職員80% 〇児童の教育的ニーズに応じた学びの場を検討したと回答する職員80%	〇校内の課題に応じた教職員研修の開催 〇児童の教育的ニーズに応じた学びの場の検討（支援会議の実施） 〇個別の指導計画の効果的活用（毎週木曜日） 〇校内教育支援委員会の計画的開催		・		・		・	特別支援教育コーディネーター

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 （評価）	進捗状況と見通し	達成度 （評価）	実施結果	評価	意見や提言	
〇不適応を起こしている児童の対応	〇集団活動に参加できない児童に対して、「不適応から適応に向かう過程」モデルに沿った対応を行う。	〇集団活動への参加が難しい児童について、対象児童の実態把握シートを作成し、支援方針を校内で共有する割合を100%にする。 〇対象児童について、「不適応から適応に向かう過程」モデルに基づいた段階的支援を実施し、月1回以上、支援内容と児童の変容を記録する。	〇対象児童の実態や背景要因を把握し、関係職員で支援方針を共有する。 〇安心できる人・場所・活動を手がかりに、別室・短時間・見学・部分参加等の段階的支援を行う。 〇参加状況や児童の変容を記録し、月1回程度、支援の見直しを行う。		・		・		・	
〇「開かれた学校」の推進	〇地域の「人・もの・こと」を活用し、子どもと共に学び成長することに喜びを見出しながら、勧興校区全体で未来の担い手である子どもを育てる。 〇大人も子どもも主体的に学校づくりに参画していくことが可能となる仕組みを模索する。	〇地域の「人・もの・こと」を活用した学習活動を各学年で年間1回以上実施する。 〇地域と連携した学習活動後の児童アンケートで、「地域の方と関わって学ぶことが楽しい」「地域のよさが分かった」と回答する児童の割合を80%以上にする。 〇学校運営協議会等で、地域連携活動の成果と課題を年2回以上共有する。	〇各教科等に地域の「人・もの・こと」を活用した学習活動を位置付け、年間指導計画に反映する。 〇学校運営協議会・公民館・自治会・地域団体等と連携し、地域人材を生かした体験活動や交流活動を実施する。 〇地域の方との学びや活動後の振り返りを通して、子どもが地域のよさや自分との関わりに気付く機会をつくる。 〇地域連携活動の成果を、学校だより、ホームページ等で発信し、校区全体で子どもを育てる意識を高める。		・		・		・	

●・・・県共通　〇・・・学校独自　◎・・・志と誇りを高める教育

5　総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・